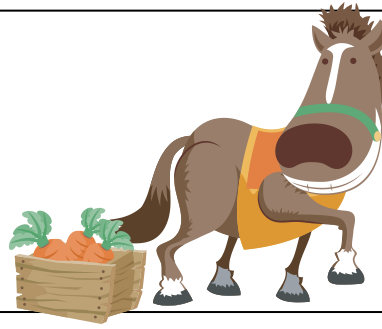


# 産地直送便



発行（農）山形おきたま  
産直センター  
山形県南陽市漆山 1068  
TEL 0238 (47) 7338  
<http://www.okitama.net>  
2014.1.1 発行  
責任者 星 隆之

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

去年は、選挙の公約にもない「特定秘密保護法」や約束を破る形で推し進める「TPP交渉」など国民の「安全・安心な生活」をとという願いを踏みにじる政治がごり押しされました。

食糧・農業分野では「減反廃止」だけが宣伝されていますが、重要なことは「食糧自給率向上」が農政からは除外されたことです。

つまり、農民は「国民」のため食糧生産をするのではなく「儲け」のために働けということです。

このような国民の願いとかけ離れ、消費者と生産者を分断するような政治は国民から見放されることは明らかです。

新しい年を「自然災害」にも「社会災害」にも負けない、豊かで安定した社会づくりの元年にしたいと決意を新たにしているところです。

今年も世よろしく願いいたします。



農事組合法人

山形おきたま産直センター  
代表理事組合長 渡沢 賢一



## ◆◆◆オーガニックフェスタ◆◆◆

交流会副委員長 倉田健三

こんにちは。広報委員の倉田健三です。今回は2013年11月4日に開催された「やまがたオーガニックフェスタ2013」についてお話したいと思います。やまがたオーガニックフェスタは、山形県内の有機農業者とそれを求める消費者とを繋ぐ機会を増やすために、県の後援を得て開催されました。

実行委員会には、山形おきたま産直センターから青年部の渡沢寿君(前実行委員長)と今回の副委員長として私が参加し、8月から農作業の合間に準備を重ね、当日には約3000人のお客様をお迎えすることが出来ました。青年部活動だけではなく、他団体の方と一緒に力を合わせて大きなイベントを作り上げていくことはとても大きな糧となりました。いろいろな出会いから力を貰い、ただの農家だけでは終わらない人間になりたいです。

★しいたけ★

青年部部长 新関拓也

9月後半から3月末までの間の冬仕事として生産しています。

以前は切り出された原木にしいたけの菌を植え付けて培養後出たしいたけを収穫する原木しいたけを生産していましたが、現在は木を細かくしたチップを袋詰後に菌を入れ培養した菌床から出たしいたけを収穫する菌床しいたけを生産しています。

以前は原木の方が良いしいたけが生産出来ると言われていましたが、現在は菌床でも味や形の良いしいたけが生産出来る事やハウス等の施設内で安定的に生産出来る事などから普及しており、私どもでもそのような経緯から菌床にて生産しております。

しいたけは寒い時期の鍋の具材等のイメージもあり実際その時期に需要も多い訳ですが、冬の間の寒い時期は施設内を暖房で加温してしいたけの菌が活動出来る状態にしなければ成りません。ですが暖房用の燃料費高等などにより菌床か原木かに係わらず冬季のきのこ類の安定生産には結構厳しい時勢です。

先にも書いた様に菌床しいたけも原木に劣らない美味しいしいたけですので様々な料理に是非お使いになってみてはいかがでしょうか。



産直米変更連絡用紙 山形おきたま産直センター行き → FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。

急な変更等是对应出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コード NO \_\_\_\_\_

FAX 送信日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

氏名 \_\_\_\_\_ 様 \_\_\_\_\_ 氏 \_\_\_\_\_

- お休み連絡 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日お届け分のみお休み  
 \_\_\_\_\_ 月 ~ \_\_\_\_\_ 月までお休み
- 変更連絡 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日お届け分の変更  
 ~ 変更内容 ~